

活動
寄付
思いと思いをつなぎ、社会的課題を解決していく

事業指定助成プログラム 「エラベル」

寄付募集期間 2015年1月5日～3月20日



神奈川初の公益財団による市民基金です。
神奈川県内の地域課題に取り組む市民団体の活動と市民の寄付をつなぎ、
生き活きとした市民社会を目指しています。

事業指定助成プログラム 「エラベル」

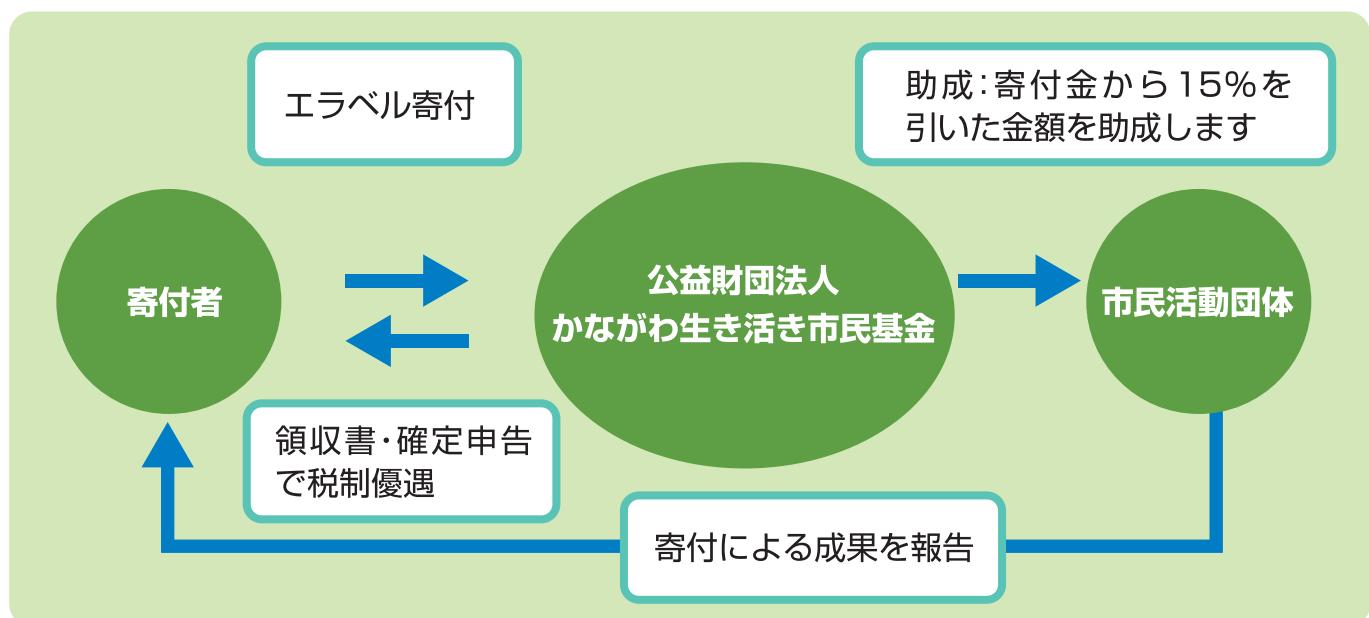


あなたの周りを見てほしい。
幸せそうな人々の顔がみえますか
でも、もしかしたら、
働く場所や、居場所がなかつたり、
いじめられていたり、虐待があつたり、
学ぶ機会がなかつたり…
だれかが見えない困難を抱えている
かも知れません

困難に気づき、
ほっとけない思いで
活動する人たちがいます。
そして
活動を支援するあなたの
志による寄付を待っています。
ほっとけない思いよ
つながれ、ひろがれ

ほっとけない
誰かの一歩…

あなたの
幸せの分かち合いで
その一歩を支える温かいお金の
流れをつくろう
その力で社会を変えていこう





事業指定助成プログラム 「エラベル」は、

地域課題に気づき、ほっとけない、解決したい・・・と活動する誰かを寄付で支援する仕組みです。

日本は2005年から人口減少社会に入り、超少子高齢社会となり、非正規雇用・貧困・格差が、困窮者、生活保護世帯の増加を招いています。

高齢者などの一人暮らし世帯は全世帯の3割を超えるました。家族のあり方が急激に変容し、企業福祉も後退し、社会保障制度の矛盾が顕在化する中で、高齢者・子供・シングルマザー・就労の機会がない若者・障がい者などの社会的弱者が、むき出で社会に放り出される事態が生じています。

2011年東日本大震災がおこり、放射能汚染の不安は今も続いています。気候変動は大きな災害を頻繁に繰り返します。

課題に気づき、日常の暮らしの中から、解決していく活動は、最初は一人の思いから始まり、つながり、拡がっています。そしてその小さな活動は市民の寄付により支えられているのです・・・

思い（活動）と思い（寄付）をつなぎ、社会的課題を解決していくのがこのエラベルです。

寄付募集活動は・・・

◎寄付を募りたい団体は

公益財団法人 かながわ生き活き市民基金のエラベルに応募し、選考委員会で公益財団法人として応援できる活動か否かを判断されます。

◎登録された団体は

エラベル登録団体として公益財団法人かながわ生き活き市民基金のHPやパンフレットで紹介され、財団と一緒に寄付を募る活動を行います。

◎寄付者は

公益財団法人 かながわ生き活き市民基金を通して寄付することにより、税制優遇をうけ社会貢献できるしくみです。

※公益財団への寄付は、確定申告で税金優遇があります。

認定 NPO 法人 地域作業所たんぽぽ

事業目的

障がい者・障がい児の地域での生活をサポートする事業活動を行うこの地域唯一の施設

活動歴

平成5年知的障がいの子どもを持つ保護者の会が「湯河原にも子どもたちが生きていく場所と手段が欲しい」と資源回収をして資金をつくり木賃アパート6戸一間から作業所を始めた。

平成10年湯河原地域作業所開所

平成18年特定非営利活動法人取得

団体情報

神奈川県足柄下郡湯河原町中央 2-21-5
0465-64-0038
メールアドレス：
tanpopo@beetle.ocn.ne.jp

支援が必要な事業

行き場がない障がい者をもっと受け入れられるように、施設を拡大します。

生活支援・就労継続（多機能）合わせて現在の35名からます50名に拡げ、順次80名まで受け入れ人数を増やしていきます。
作業スペースを分けて、障がいに合わせた支援を可能にします。

専用の生活介護支援室を持つと、生活介護の方の居場所ができます。行動障がいの方は、子どもの声や行動、おしゃべりにいら立つことがなくなり、安心して過ごすことができます。

現在行っている事業

地域作業所（就労継続支援B型・生活介護）

※地域作業所…障がいのある方たちの就労の場、日々の生きがいの場

ほかに地域活動支援センター・日中一時支援・障がい児対象の放課後等ディサービス・児童発達支援・移動支援・居宅介護・訪問介護・視覚障がい者同行援護・カフェたんぽぽ

ほかに行き場がなかった…でも「たんぽぽ」があった

おおぜいの障がい者を受け入れる
新規施設の設備・備品購入に
ご協力ください



所長 鈴木雅之さん

近隣含めこの地域で、行動障がい（暴力的）や多動性のある方の受け入れが可能な地域作業所はここに限られています。作業所に行けない障がい者は自宅で過ごすほかなく、介護者（多くの場合、親）が高齢化する中で、障がい者が地域で人と交流したり、就労に参加する機会がないことへの不安が高まっています。

このようなニーズに動かされ、施設拡張計画が持ち上がりました。県の補助金はありますが、自己資金も必要です。しかしあともと非営利の事業です。受益者負担にも、自己資金にも限りがあります。施設建設費は補助金・自己資金・借入で賄いますが、設備・備品にかかる部分は多くのご協力が必要です。



事業指定助成プログラム
「エラベル」
目標金額 **2,160,980 円**

寄付で可能になること

70万円寄付が集まると	30名の作業メンバーが作業（仕事）をすることができる。 (作業テーブル15本・イス30脚等の購入)
150万円寄付が集まると	さらに30名の作業メンバーが毎日、昼食をすることができる。 (厨房機器・深皿・炊飯器等の購入)
216万円寄付が集まると	さらに他の作業メンバーを含めて70名の方が毎日、昼食をすることができる。

【寄付方法】

郵便振替 00250-9-52723 (たんぽぽ専用口座)

銀行振込 中央労働金庫 新横浜支店 普通預金 109570
口座名義人 ザイ) カナガワイキイキシミンキン
045-620-9044



たんぽぽ利用者の声

「たんぽぽがあって・・・」

- 近くのたんぽぽに通いたい。
- 自宅からの行き場が無かった。
- 肢体不自由で、地域での支援を希望。
- 他で断られ、行き場が無かった。
- たんぽぽが生きがい。
- たんぽぽに来るまでは、自宅で過ごしていた。たんぽぽに来て本当によかったです。
- 里親が高齢の為、グループホームに入所し、たんぽぽへの通所を希望
- 現在入院中（精神）。一時帰宅時に利用。退院後の利用希望。
- 他で続かず行き場が無かった。

などがありますが、「自宅からの行き場がなかった。」と言う声が圧倒的に多いです。

社会に出る児童養護施設等の
子どもたちのスタートを
応援するキャリアアップ事業

NPO 法人 フェアスタートサポート

事業目的

児童養護施設など社会的養護のもとで生活する児童への将来の自立に向けた支援を行い、すべての子どもたちが就業に関して、平等で公平な機会を与えられる社会の創出をめざす。

事業内容：施設入所児童のキャリア教育・就職相談・アフターフォロー

活動歴

2011年児童養護施設等の子ども達・若者達への就労支援を行う、(株)フェアスタートを起業。子ども達・若者達へ「就労教育・就職マッチング・仲間づくり」の機会を提供し、彼・彼女たちが貧困の連鎖を断ち切り、本来持っている可能性を十分に輝かせ活躍してくれることを目指し、活動している。養護施設の子どもたちを正規雇用することは、福祉としてではなく、ビジネスとして有効であることを企業に示すために、株式会社としてスタート。一定の実績を作れた2013年に多くの人の協力を得やすいNPO フェアスタートサポートを設立。

団体情報

横浜市中区北仲通 3-33
関内フューチャーセンター 214
045-319-4675
メールアドレス : info@fair-start.org

主な活動場所：神奈川県内、および首都圏の養護施設から希望がある

笑顔で社会に出ていく公平なチャンスが欲しい！

18歳で施設を離れてひとりで社会に
出る子どもたちのキャリア・アップ
にご協力ください。



代表理事 永岡鉄平さん

児童養護施設等で育った児童は18歳になると施設を退所し、一人で生きていかねばなりません。キャリア教育を受ける機会に乏しい子どもたちは、「住み込み」を最初の条件にするなど、仕事の中身と将来の希望がマッチせず、離職率は75%にも及びます。戻るところがなく、やる気をなくしワーキングプアに陥ったり生活保護受給者になることも少なくありません。

この課題を解決するために、意志ある企業と連携し養護施設の子どもたちへのキャリア教育（企業体験ツアー・スキルアップ）でだれでも公平なスタートを切るために支援をしています。

支援が必要な事業

2015 年度に養護施設等を卒業し、社会に出る子どもたちの、キャリアアップを支援する

企業見学ツアー、就労体験の実施を拡大し、より多くの子どもたちが体験できるように回数を増やしていく。パソコン教室では、ワード・エクセル・アートの資格取得に加え、イラストレーター・フォトショップ等を学び、就職に役立つ内容にスキルアップしていく。

現在行っている事業

会社見学・・施設の子どもたちを連れて企業見学ツアー。
2013年2回実施。30名
就労体験・・2013年60名
企業との交流会・パソコン教室など



事業指定助成プログラム
「エラベル」
目標金額 **700,000 円**

寄付で可能になること

30万円集まると	10人の会社見学ツアーを行える。	@30,000×10人
60万円集まると	さらに 10人の就労体験を行える。	@30,000×10人
70万円集まると	さらにパソコン教室に資格取得の講師を呼び、ソフトを購入できる。	

【寄付方法】

郵便振替 00240-1-83238 (フェアスタートサポート専用口座)

銀行振込 中央労働金庫 新横浜支店 普通預金 109551
口座名義人 ザイ) カナガワイキキシミンキン
045-620-9044



子どもたちの声

- 企業訪問で、仕事と言うものは「人を喜ばせること、お仕事」という事に対してすごく感動した。
仕事とは大人が絶対やらなきゃいけない義務みたいなイメージがあった。自分の夢も「人に喜んでもらう」。夢を実現したい！
- 自信が湧いてきた！社長さんのお話を聞くと本当に感動しました。迷ってもいろいろ頑張れそうです。
- 自分の好きなことをするという事が仕事とわかり、なるほどと思った。

福島第1原発事故を
風化させることなく、福島の
子どもたちを支援していきたい

「福島の子どもたちと ともに」川崎市民の会

事業目的

3.11 東京電力福島第一原発事故から 3 年 9 か月たっても、いまだ除染の実は上がらず福島の子どもたちは低線量放射能を毎日浴び続けている。小学校の長期休暇（春休み・夏休み・冬休み）に合わせて、放射線量の比較的低い川崎で子どもたちの保養と保護者同士の学習・交流を実施している。

活動歴

2011年から支援活動実施。震災関連死 1671人。甲状腺がん発生89名（確定50名）の痛ましい現状を受け、福島の子どもたちを少しでも被曝から守りたいと立ち上げた。
2014年夏で計12回の保養プロジェクト（リフレッシュ in かわさき）実施。

団体情報

川崎市多摩登戸 2258 ぐらす・かわさき
気付
メールアドレス
fukushima.children.311@gmail.com

主な活動場所：川崎青少年の家、川崎夢パーク
など市内の施設

福島にいると心が折れて、 流されてしまいそうになるけど・・

放射能汚染土と隣り合わせでくらす
福島の子どもたちの保養プログラム（夏）
の実施にご協力ください。

世話人 木村雅子さん、阿部公子さん



福島の人たちは放射能汚染土と隣り合わせの生活をしていて、放射能の不安を口にし難い環境にいます。保養を実施することで、子どもたちや家族は普段できないプールや泥んこ遊びなどの外遊びができ、また同じ状況の家族同士で日頃の不安や悩みなどを話し合うことが出来、心身ともにリフレッシュすることが目的です。

そして、保養の必要性を福島の中からも声をあげるためにも、保養の参加者が繋がりネットワークをつくることを目指しています。

保養の参加者は福島の生活もあり、経済的な負担を強いることになるため参加費を徴収することはできず、国や行政で補助金を出す制度もないため、協力してくれる方たちを募っていくしかないのが現状です。

ぜひ3.11を、風化させることなくこの事業を継続し、福島の子どもたちへの支援にご協力ください。

支援が必要な事業

「福島の子どもたちのリフレッシュ in かわさき2015年夏」
子どもと家族計45名12家族の保養プログラム実施事業。

2015年は、「福島の子どもたちのリフレッシュ in かわさき 2015 春・夏・冬」の3回を実施します。3.11から時間が経過し、寄付も集まりにくくなっています。3回のうち、2015年夏のプログラム実施事業分をエラベルで集めたい。

現在行っている事業

福島県内在住の小学生以下の子どもとその家族の春・夏・冬の保養プログラムを実施。各プログラムに12家族45名ずつ参加。



野積みされた汚染土の山

事業指定助成プログラム 「エラベル」

目標金額 1,200,000 円

寄付で可能になること

総額の 30%、36 万円 寄付が集まると	1 回の保養に子どもと家族計 約 14 名（4 家族）が参加できる。
総額の 50%、60 万円 寄付が集まると	1 回の保養に子どもと家族計 約 23 名（6 家族）が参加できる。
総額の 70%、84 万円 寄付が集まると	1 回の保養に子どもと家族計 約 32 名（10 家族）が参加できる。
100% 120 万円 寄付が集まると	1 回の保養に子どもと家族計 約 45 名（12 家族）が参加できる。

寄付方法

郵便振替 00270-6-102471 (川崎市民の会専用口座)

銀行振込 中央労働金庫 新横浜支店 普通預金 109560
口座名義人 ザイ) カナガワイキイシミンキキン
045-620-9044



参加者の声

● ウエルカム、夢パーク、おもいで・
こんさーと・・・どれも素敵な体験が
できた。

福島のことを心配してくださり、定
期的に集まり、活動していることに
胸がいっぱいになった。

● 福島に帰ると放射能により悩みは残
ってしまうが、みなさんが想って下
さることを思い出してがんばろうと
思う。みなさんの活動を友達に伝え
たい。

外国につながる子どもたちの
日本語力アップを支援する
漢字教材開発と普及活動

認定 NPO 法人 地球学校

事業目的

外国人に対し日本語学習の支援、および多文化交流を推進し、国際協力を推し進める。
具体的には、外国につながる子どもたちへの無償の日本語学習教室。外国人へプロが低価格のボランティアで日本語学習教室を行っている。

活動歴

2000年、多文化交流ボランティア団体「地球学校」として設立。
以後、大人向けの日本語教室と、子供向け「地球っ子教室」を開始する。
学習イベント「漢字王決定戦」は2008年から開始。
2001年特定非営利活動法人取得

団体情報

横浜市栄区小菅ケ谷 1-2-1 地球市民かながわ
プラザ NPOなどのための事務室内
メールアドレス : daihyo@chikyu-gakko.org

主な活動場所：
かながわ県民活動サポートセンター
活動エリア：中華街のある横浜市中区・南区

日本語がわからないと授業が楽しくない！

日本で生きるために必須の漢字知識。
たくさんの外国につながる子どもたちへの
学習支援にご協力ください。



理事長 丸山伊津紀さん

外国につながる子どもたちは、様々な事情で日本語が話せないまま日本に来て、日本の学校に通っています。文化も教育制度も違う日本で、学校に溶け込めず孤立したり、不登校になる子もいて「地球っ子教室」には成長期の居場所の役割もあります。

毎週土曜日かながわ県民活動サポートセンターで「地球っ子教室」を開催し、子どもたちが日本語を勉強しています。子どもの9割は中国の子で、漢字には慣れていますが、日本語の漢字の読みや文法は難しいと言います。日本語理解には必須の漢字を、楽しく興味を持って学ぶことはできないかと、年に2回ほどゲーム方式で、漢字の篇・つくりの仲間同士を探す学びで、学年を超えて楽しく学んでいます。このゲームが「漢字王決定戦」です。かなり有効に学ぶことができます。

「漢字王決定戦」をより簡単に広げるために、神奈川県内の企業の協力を得て、無償でアンドロイド版のアプリを作成することができました。ゲーム要素を取り入れているので、一人で学ぶことができますし、親子でも楽しく学べます。このアプリはGoogleplay上で公開しています。しかし、アップル社のiOS版の方がユーザーが多いため、まだまだ多くの子どもたちの活用につながっており、普及という面でも課題です。

私たちは「漢字王決定戦」の教室活動版とアプリ版を使って、普及活動を行い、その活動を通じて地球学校の活動や外国につながる子どもたちの状況を知ってもらいたいと考えています。ぜひ私たちの活動にご協力ください。

支援が必要な事業

外国につながる子どもたちの日本語教育のための
漢字教材の普及活動と、iOS版アプリ開発

現在行っている事業

地球っ子教室（外国人児童・生徒への日本語指導、学習支援）
日本語教室（企業等に勤める外国人への日本語指導）
多文化交流事業（会員及び学習者の交流）



事業指定助成プログラム
「エラベル」
目標金額 **840,000 円**

寄付で可能になること

総額の 40% 34 万円が集まると	①漢字王決定戦を拡げるキャラバン実施 全国で外国につながる子どもたちの支援を行っている団体へ漢字王決定戦普及のキャラバンを計画。広島県（6月）、福島県（9月）、静岡県（11月）ができる。 ②漢字教材「漢字王決定戦」問題のメニュー充実ができる。
100% 84 万円が集まると	③さらにiOS版の開発ができる。 8割が使うiOS版を開発し、漢字教材「漢字王決定戦」の活用と普及ができる。

地球っ子教室 卒業生の声

- いま『地球っ子』に来ている子に言いたいことは、『地球っ子』で一歩一歩しっかりと勉強し、日本語を自分のものにしてほしい。そうすれば、必ず世界が変わります。
- 急に来日が決まり、高校は来年まで待つように言われ、閉じこもっていました。『地球っ子』で居場所が見つかり、半年間日本語を勉強し行きたかった高校に入れ、大学では音楽の道に進みました。
- 楽しく勉強すると簡単に身につくと思います。漢字ゲームがとても楽しかった。

【寄付方法】

郵便振替 00230-1-136752
(地球学校専用口座)

銀行振込 中央労働金庫
口座名義人 新横浜支店 普通預金 109589
ザイ) カナガワイキイキシミンキキン
045-620-9044



寄付の方法

各助成先（事業・活動）への寄付方法は下記のとおりです。

郵便振替、銀行振り込み 各事業・活動の紹介のページに掲載されています
口座にご入金ください。

※寄付先ごとに振込口座が異なりますので、よくご確認頂きお振込みください。

現金 公益財団かながわ生き活き市民基金へ持参、または現金書留で郵送
してください。現金書留の場合、寄付申込用紙を同封してください。

ご注意

- 口座名義は、運営管理をおこなう公益財団法人
かながわ生き活き市民基金の名義です。
- 振込手数料は、申し訳ありませんが、振り込む方
でご負担下さいますようにお願いします。
- 助成金となるのはいただいた寄付金から財団運
営費として15%を除いた額となります。

領収書発行について

●寄付金控除等税制優遇措置を受ける場合、確定申告の際に当財団の発行
する領収書が必要になります。領収書はご希望の際に、その都度発行し
ますが、発行日は当財団への入金日付になります。

公益財団かながわ生き活き市民基金に寄付された際の税制優遇について

かながわ生き活き市民基金は公益財団法人です。公益財団法人への寄付は
税制優遇（寄付控除／損金算入）の対象になります。

☆個人の方

●所得税、市県民税の一部が控除されます。

☆法人の方

●「一般損金算入」とは別に「特別損金算入」も適用されます。

*寄付控除、損金算入は条件があります。詳しくは、当財団のホームページを
ご覧いただくかまたはお住まいの自治体、税務署にお問い合わせください。

ご寄附の際は、寄付のお申込みをお願い致します。申し込みは、ホームページ
の申込フォームより送信されるか、寄付申込書をFAXまたは郵送にて
お送りください。来所の際は、ご来所時にご記入いただくか事前にご記入い
ただきご持参ください。寄付申込書はホームページ上からダウンロードでき
るほか、事務局までお問い合わせください。

かながわ市民基金

検索



〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜パレアビル6F

Tel: 045-620-9044 Fax: 045-620-9045

Mail: info@lively-citizens-fund.org

URL: <http://www.lively-citizens-fund.org/>

Facebook: <https://www.facebook.com/livelycitizensfund>